

バーリ・ナトウシュ先生の定年退職にあたって

日本大学経済学部長 井 尻 直 彦

ナトウシュ先生は平成3年に本学部に助教授として着任され、平成9年に教授に昇格されました。本学部着任以来、4半世紀を超える長きにわたり学部の教育ならびに国際交流の発展に多大なご貢献をされました。

ナトウシュ先生は、私たち経済学部の教職員すべてに対し時には英語で、時には日本語で、常に丁寧な口調で話しかけて下さり、いかなる時も紳士的で颯爽としておられるのが印象的です。

ここで改めてナトウシュ先生のご経歴を簡単にご紹介致します。ナトウシュ先生は昭和21(1946)年にニュージーランドでお生まれになり、昭和39(1964)年にPalmerston North Boys高校をご卒業の後、Ardmore大学教育学部に進学され、教育学士を修め、さらにAuckland大学アジア語学部に進学され、言語学士を修められました。大学卒業後に、ニュージーランドや日本で教師を経験された後、Massey大学大学院修士課程、そして博士課程に進学され、昭和62(1987)年に博士号(社会言語学)を取得されました。

ナトウシュ先生は、ニュージーランド、サウジアラビアで社会言語学や英語の教鞭を取られ、また日本では本学部への着任前に熊本や静岡でも英語の教鞭を取られるなど国際的かつ豊富な教育経験を持ち、それを学生への教育に活かして下さいました。

本学部においては、英語科目を担当する傍ら、長らく国際コース委員会、国際交流委員会にて、学部の発展に、とくに本学と外国の大学との学術交流・学生交流の進展に、大きく貢献されました。

研究としては、過去10年の間に、単書1冊、研究論文15篇を公刊され、また共同・単独の学会報告を15回されるなど、数多くの優れた研究成果をあげられておられます。加えて、Asia-Pacific Association for Multimedia-Assisted Language Learning 学会評議員、Computer Assisted Language Learning 学会国際担当として学会へ大きな貢献をされてきました。

長年にわたり経済学部のためにご尽力頂きましたことへ心からお礼を申し上げるとともに、ナトウシュ先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念し、巻頭の辞と致します。